

5 京都らしい町並み景観を保全・再生するための制度の創設・整備等

京都ならではの風情豊かな歴史的町並みを、京都のためだけでなく、日本の宝、世界の財産として、保全・再生し、次世代に引き継ぐために、国の新たな支援等が必要であり、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 歴史的な町並み景観の保全や防災対策のための無電柱化事業の推進
- (2) 屋内から屋外に向けた広告（屋内広告物）を規制するための法整備及びガイドラインの策定
- (3) 景観上重要な歴史的資産やその周辺の景観を保全するための財政支援の拡充

無電柱化事業の推進

京都市における無電柱化の進捗状況

管 理 者		京 都 市			国土交通省（直轄国道）			計 (km)	整備率 (%)
		幹線系	景観系	小 計	幹線系	景観系	小 計		
道路	無電柱化済 総延長	33.3	9.0	42.3	21.4	0.0	21.4	63.7	1.76
				3,563			50	3,613	
管路	無電柱化済 総延長	51.0	10.1	61.1	42.8	0.0	42.8	103.9	2.41
				4,215			100.0	4,315	

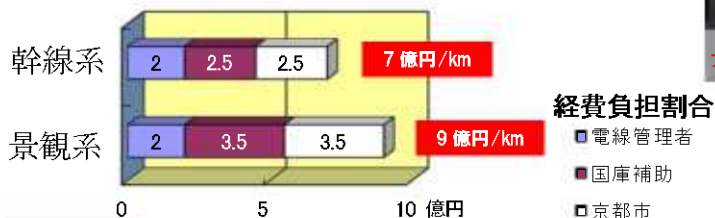
景観系路線の無電柱化も、都市防災の観点からは喫緊の課題！

主な課題

①電線共同溝方式の限界

狭小道路での埋設や地域との合意形成の困難性、高コストなどが課題

②多額の整備費



景観を阻害している電線類

要望

無電柱化の促進には、**無電柱化推進法成立に基づく国の「無電柱化計画」早期策定と、国における必要十分な予算確保が必要！**

さらに、

- 直接埋設・地上機器コンパクト化等の低コスト手法の早期導入
- 景観に配慮すべき地区や沿道建築物の耐震診断が義務化された道路等における補助率引上げなど補助制度の拡充
- 工事完了後の速やかな電柱撤去促進のための補助制度創設
- 国直轄事業における無電柱化事業の推進 が必要！

屋内広告物に係る法整備

現状

屋外広告物の規制強化に伴い、屋内広告物の掲示により同様の効果を得ようとする傾向がある。

屋内広告物はこの高さまで掲出可

特定屋内広告物

屋外広告物の掲出可能な高さ



課題

屋内広告物は、京都市独自の条例に基づき規制はしているものの、屋外広告物法による規制根拠はないため、許可制に基づく規制や行政代執行を背景とした指導ができない。

要望

屋外広告物同様に実効性のある規制や指導ができるよう、**屋外広告物法の改正等の法整備及びガイドラインの策定が必要！**

景観保全に係る財政支援の拡充

現状

京都市での景観重要建造物等の指定件数 1 2 3 件 (年平均 1 0 件)

課題

- ・京町家と並ぶ京都のまちの歴史・文化の象徴：寺社や近代建築物等 → 資金難を要因とする土地の売却やマンション建設による消失事例の発生

要望

景観上重要な歴史的資産やその周辺の景観を保全・再生するため、**景観重要建造物等への助成財源の拡充が必要！**

